

# 各委員会での主な審議結果

## 総務企画委員会

**質** 市税条例の一部改正のうち、たばこ税の税率変更に伴う次年度以降の税収の影響額は。

**答** たばこ税は4年間で段階的に引き上げとなる。たばこの販売本数は年々減少傾向にあり、27年度当初予算の本数から毎年2%ずつ減少するものとして試算した場合、3級品に係る増収は、28年度では214万9千円、29年度では421万3千円、30年度では722万7千円、31年度では1302万2千円になるものと見込んでいる。

**質** 行政不服審査会の事務を県に委託することで迅速な手続となるか。

**答** 県に事務委託することで手続の時間はふえるが専門の第三者機関で審議されることからより公正性は高まるものと考えられている。

**質** 定住自立圏形成協定を締結することによって住民負担に影響はないか。

**答** 各市町が連携することにより効果が発揮できる事業を実施しようとするものであり、市町がそれぞれ定

めている料金や使用料等を統一しようとするものではないことから住民負担には影響はない。

**質** 市個人情報保護条例の一部改正について、本人の同意を得ることが困難な場合とはどのような場合を想定しているか。

**答** 想定では事故により意識がない場合や、意識があったとしても意思表示ができない場合のほか、災害等により孤立した地域に介護が必要と考えられる人がいる場合等を考えている。



総務企画委員会の様子

**質** 住民基本台帳システムの運用方法と閲覧履歴は確認できるようになっているか。

**答** インターネットに接続していない単独のシステムで運用しており、閲覧についても誰がいつシステムにアクセスしたか履歴を確認できるようになっている。

**質** 今後の地方交付税の見通しは。

**答** 今年実施の国勢調査により人口減少が予想されており、その結果が来年度以降の普通交付税算定に反映されることや合併算定がえの段階的な縮減が始まること等を踏まえると減額されていくものと考えられている。

**質** 公共施設の維持管理計画をどのように考えているか。

**答** 平成28年度までに公共施設等総合管理計画を策定することとしており、その計画に従って大規模改修や維持経費等の平準化を図っていくこととなる。

**質** 常盤公民館山谷分館の解体後の活用計画はあるのか。

**答** 解体後は更地とし現時点では活用の計画はない。

(佐藤智一)

## 庁舎整備特別委員会

**質** 駐車場について、1台当たりのスペースは幅2・5メートル、奥行5メートルとしているが、全体の駐車予定台数を減らしても、もう少し余裕のあるスペースを確保できないか。

**答** 台数について再度検討する。

**質** 新庁舎建設工事等の進捗状況は。

**答** 8月末現在の進捗率は新庁舎工事で約9%、第一駐車場で約59%、第二駐車場で約62%となっており概ね予定通りである。

(伊藤洋文)



新庁舎建設工事(さくら庭)